

4 質の高い教育を
みんなに



1年1組

学校ってたのしいな♡

11 学び続けられる
よき学び舎



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



😊 神奈川大学に行きたいなあ〜♡

生活科の学習で、学校たんけんをして、小学校の施設のこと、先生や職員のことたくさんの疑問をもち、実際に自分たちの目で確かめて来ました。そして、通学路にある神奈川大学に興味をもち、大学ってどんなところなのかな？と自然と興味をもちました。大学にお願いをして、子ども向けキャンパスツアーを行ってもらいました。

「小学校にある〇〇は、大学にもあるのかな？」という視点をもって見学に行きました。どんな教室で授業をしているのかな？と講義している教室をちらり☆長い机で勉強していた！パソコンを使っていた！など、驚いている様子でした。神奈川大学には、ラーニングcommonsという素敵な空間があります。廊下などやフリースペースなどに机や椅子があり、グループで話し合ったり、調べものができたりする場所です。不思議そうに見ていました。大学案内をしてくださった神奈川大学社会連携センターの田中様が詳しく場所や施設のことを説明してくださいました。ラボには3Dプリンターもあり、驚いていました。

そんな中で、神奈川大学の学生さんたちに出会うこともでき、大学たんけんて気になった「大学生ってどんな勉強をしているのしているの？」「宿題ってあるのかな？」などを実際に大学生に質問することができました。4人の大学生が、小学校に来てくれて、子どもたちのもった疑問に答えてくれました。大学生にとっても、子どもたちとの出会いや学びの共有をすることができたようで、お互いにとって学びがある素晴らしい時間になりました。



かながわ大は、
21かい まであります！



しょくどうのメニューおいしそうだな。
ラーメンがいいなあ〜♡



こんなに大きかったら、
エレベーターをつかうの
わかるな〜



3D プリンターで、
いったいのものが つくれるんだ！



〜きょうしつ〜
どんなべんきょうを
してるのか のぞき見😊





すみれちゃん（大学生）たちに小学校案内だ！

先週の神奈川大学の学生さんたちとの交流から、今度は、小学校を案内してほしいとのお願いがありました。「小学校のことなら、任せて！！」と今までの学校たんけんのことを発表する機会ができました。優しく大学のことを教えてくれた大学生のすみれちゃんたちに、分かりやすく伝えようとグループでルートを考え、それぞれが説明する場所を分担して準備をしています。特別教室に関わる先生たちを写真などに撮っておいて見せたいと用意するなど、相手に伝えることを意識した活動ができるようになりました。原稿を作っていると、「あれ？分かっているつもりだったけど、これって何て言うんだっけ？」と分からないところなども出てきて、自分で確かめる姿もありました。25日の本番までにしっかりと準備していきたいと思います。



音楽室に案内する時に、いまやっている曲を見せてあげようっ♪

すらすら言えるように練習しなくちゃ☆



😊 いよいよ みなとみらい祭♪

神奈川大学の学園祭「みなとみらい祭」で、大学たんけんの様子、大学生へのインタビュー、小学校紹介をまとめた動画が放映されました。音読などを通して、原稿の読み練習をして、準備万全で動画づくりをおこないました。

大学生との出会いにより、学びが深まり、4月の頃にしていた学校たんけんよりも活動が充実しました。自分自身が学校を知る4月から、誰かに伝える秋の学校たんけんは、素晴らしい学びとなったと思います。

【展示場所等】

映像→5階（5008 教室） ※約15分の動画がくり返し流されます。

ペットボトルのキャップアート（5階）ラーニングcommons（廊下のような学習スペース）



大学生に紹介した時のものからパワーアップさせています！

小学校クイズもどうぞ楽しみに♪





みなとみらい祭♪

神奈川大学の学園祭では、お休みの中、多くの方に足を運んでいただきました。With コロナの時代で、学園祭などできない年もあったと思いますが、よいタイミングでこのような機会をいただき、ありがたく思っております。

子どもたちの頑張りがつまったムービーを楽しんでいただけたようで、嬉しいです。たくさんの感想をいただき、月曜日に子どもたちに読みました。とても喜んでいて、子どもたちも頑張っよかったなという表情でした。

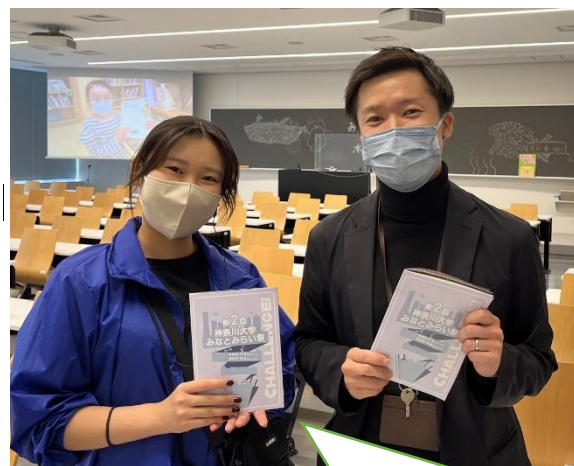
ペットボトルキャップアートも、作成に参加した3名の児童だけでなく、クラスの子もたちは、使い方を変えるだけでアートになる素晴らしさを感じていました。

4年生のワークショップも同じように、いらなくなったものでも、使い方次第でまた使えることなど、アップサイクルの要素を子どもたちにあった活動で感じることができたのではないのでしょうか。

地域に大学があるという魅力を感じて、また大学を身近に感じられたのではないかと思います。大学の立派な図書館も今後地域に開放できるようになる予定のようですので、地域をつなぐ場ともなりそうで楽しみです。ラボも利用できる日があるようですので、ぜひ今後も神奈川大学をチェックしてみてください。



みなとみらい
本町小学校
みなとみらい祭



お世話になった
すみれちゃん・田中さん からも
メッセージをもらったよ。



とても大きな教室をお貸ししていただき、自分たちがスクリーンに映し出されていて、とても嬉しそうでした。椅子も、昔とちがって？ふかふかになっていて、勉強がはかどりそうですね。こんな場所で学べるなんて羨ましいなと思ってしまいました！

😊 2年生とかたるかい♪

火曜日、2年生とかたる会（「みな」と「みらい」を語る会児童編）が行われました。この活動は、それぞれの学級で取り組んできた生活科や3年生以降は総合的な学習の時間での学習の中間発表を兼ねた活動で、違うクラスの児童から意見や質問、アドバイスをもらい、自分たちの活動を深めるねらいを持っています。神奈川大学の学園祭で作ったクイズを2年生バージョンにして交流を行いました。学園祭でいただいた感想でクイズの改善点を書いてくださった方が数名いたので、その意見を元に、2年生から出てきた個別の質問にも調べたことを元にして発表する姿が見られました。この反省をもとに、保護者向けバージョンに変更しました。



食堂で大学生は、ごはんを食べているんだよ！！



へえ、大学ってこんな風になっているんだ！行ってみたいな♡



3Dプリンターで、ものを作れるんだって！！

300人で授業を受けているんだって！





語る会ありがとうございました♡

保護者の方に向けて、「『みな』と『みらい』を語る会」を行いました。子どもたちの比較の視点でみる「小学校と大学」のクイズや紹介を行いました。

子どもたちは、小学校・大学のどちらのたんけんて、それぞれの場所の特徴だけでなく、そこに関わる人たちなど、見えていなかったり、給食の作られ方など全貌は一度に見ることはできなかったり、自分たちの知っていることをできる限り伝えようとクイズにし、解説に入れていました。クイズにして、解説を加えることで、それぞれの比較を説明することができました。どの内容を紹介するのかの選択や内容の吟味は子どもたちに任せました。

語る会では、保護者や上級生が対象になるので、「ちょっと難しくしよう！」とか、学園祭のアンケートでいただいた、「先生の名前を出さず問題は知らない人もいるからやめようとか」…そうやって考えた末にできたものでした。クイズを作るという作業には、大学の中で知ったことから1つにテーマを絞る、選択肢で難しさを調整する、解説で小学校と比較するという様々な要素が混ざり合っているものだなと考えさせられました！！参加型の語る会のような形式は、お客さんの反応を見ることができて、反応や喜んでいる表情が次への原動力につながるなと思いました。



大学生の宿題は、どんなものがでるでしょう？

- ① プリント
- ② パソコンでかく
- ③ かんじれんしゅう



保護者の方からの感想では、大学という今まで知らない将来の学ぶ姿をイメージでき、今学んでいることが、大学での学びにつながっていくことを子ども自身が意識でき、よい機会だったというような感想をいただきました。

大学生になりたいという将来の姿を少しイメージできたようです。

1年2組

あきのクローバー～あきさがし～



夏に水遊びをした経験から、秋をたくさん探したい、風でたくさんあそびたいという思いを高めました。



夏に水遊びをしました。様々な容器から出てくる水の形や、水の冷たさ、さわりごちなど、水の特徴について遊びを通してたくさん学習しました。

「水にぬれるとつめたいね。」「びしょびしょになっちゃったけど、暑くてすぐ乾くから大丈夫。」など、水に触れることを心から楽しんでいる様子が見られました。

「今日は口が広いペットボトルで水を飛ばしたけれど、次はもっと狭い容器でやったらどうかな。」「みんなで水が飛ぶ距離をはかるために、一列に並んで飛ばしてみよう。」という風に、どうしたら今より水の性質を生かして遊ぶことができるかを実際にやりながら試行錯誤しました。

水遊びを通して、水の性質に気づき、夏という季節の特性に触れることができました。



繰り返し水遊びをしました。今回は、前回より「はてな」を追究するために遊び、深めていきました。「地面の色はなぜ変わるの?」「容器で水の形は変わる?」等、水の性質にせまる「はてな」が多くありました。それらを解決することで、水は冷たい、濡れると体が冷える、太陽にあるとキラキラ光る、水は形を変えて上から下に落ちる等の水の性質を体感することができました。身近にある廃材で遊べることも今回の学習で学びました。夏を存分に感じ、遊べていたように見られます。



遊びを繰り返すうちに、「もっとお水で遊びたい。」「他の季節でも、なにか遊ぶことはできないかな」など、次の季節につながる思いが高まってきました。

徐々に寒くなってきていたので、「水以外で遊べる方法はないかな?」とみんなで話し合いをしました。

10月に一回目の秋探しをしました。高島中央公園へ行き、寒さを感じながら虫や、花など目を輝かせて探す様子が見られました。この日は初めての校外学習となり、外へ出る練習のためにも行いました。小雨が降っていたので、傘を差しながら道路を歩いたり、公園で雨に気を付けて活動したりと、制限が多く、初めての挑戦としてとてもハードルが高かったかと思われます。しかし、2列で間を空けず上手に歩くことができ、活動中も大きなけが無く、無事に帰ってくることができました。とても立派でした。

この日は雨だったため、活動を続けると「寒い！」「風がぴゅーぴゅーしてるよ。」等、気候の違いに気付く子がいました。夏の水遊びの時季は、水にぬれてもすぐ乾き、ぬれることが気持ちいい様子でしたが、今回は違う感覚だったようです。目に見える違いだけでなく、感覚の違いに気付けたことが、次回の学習につながりました。



11月8日は語る会の児童交流日でした。2校時と3校時に分かれ、風遊び班は2校時に校庭で、秋遊び班は3校時に教室で行いました。2年生も半分ずつ1年生の学習を見に来てくれて、一緒に遊んだり、アドバイスをくれたりしました。自分が発表していない時間は、2年生の活動を見学に行き、発表の仕方を学んでいました。この日まで、おうちでも凧を作ったり公園に行って材料を集めたりして、事前準備をとても頑張っている様子が見られました。初めて経験する行事のため、事前の説明を一生懸命聞いていましたが、実際にやってみると「こういう風にやるといいんだ！」と納得したようでした。

2年生からもらったアドバイスを生かして、「あそびをよりよくしたい！」という気持ちが大きくなりました。





保護者交流日の語る会では、児童交流日に気付いた遊びの問題点などを改良して、さらに保護者の方から意見をもらいました。風の向き、温度、動き方、すべてが「秋」という季節につながっていたと感じていたようです。風は、1年中吹いているものなので比較することができるため、「秋らしさ」というものを存分に感じられたかなと思います。



今回1年2組では、季節を題材に1年間研究を重ねてきました。そこで得たPDCAサイクルを次の学年につなげて、これからの生活科、ひいては総合に生かして行ってほしいなと思います。

1年3組

おはないっぱいだいさくせん～きらきらみんなでえがおをさかせよう～



春にお花をそだてた経験から、「またお花を育てて、今度は自分たちが育てたお花で全校の皆を笑顔にしたい」と思いを高めました。



秋に種から育てられるお花を調べて、どのお花がよいか、みんなで考え、パンジーを植えることに決めました。調べていく中で、球根を植えるに適した時期であることが分かり、来年の1年生も4月に笑顔になってもらえるように、チューリップも植えることに決めました。



皆にお花を見てもらえるように、校庭の花壇に植えたいと考えた子どもたちは、花壇に植えてもいいか校長先生に聞いてみることにしました。自分たちがどのような取組をしていて、どのような思いで花壇にお花を植えたいのか、校長先生に話す言葉を練習して行きました。すると、校長先生から、「いい取り組みですね。全校の皆も喜び、虫たちもきっと喜びね。これから寒くなってくるから、どのようにお世話をしていったら良いか、ぜひ、専門家の先生に聞いてみてね。」と花壇に植えて良いことに加えてアドバイスまでくださいました。花壇に植えて良いことを聞いた子どもたちは、大喜びでした。



パンジーの種を植えるときには、自分たちがこれまでに植えたお花の種と形が違うことや、大きさが、ゴマのように小さいことに気がきました。とっても小さい種を落とさないように、大事にポットに植えました。



パンジーの芽が出てき始めたとき、西区の方からお花の苗をいただき、自分たちが育てているパンジーと一緒に植えることにしました。

お花が増えたことで、花壇のデザインはどのようにしたらよいか子どもたちは考えました。自分たちは、皆に笑顔になってもらいたいからと、校内の人にも聞いてみようということになり、「みな」と「みらい」をかたる会で、自分たちのこれまでの取組を伝えることと、花壇のデザインについて聞いてみることにしました。



校長先生からのアドバイスもあり、寒くなってきたときのお世話について専門家の先生に聞くことになりました。

西区の環境活動支援センターの先生に来ていただき、パンジーのお世話の仕方、花壇への植え付け方、チューリップの植え方について実演を交えて教えていただきました。パンジーは、葉っぱがポットから出るくらいになったら花壇に植え付けてよいこと、それまでは、風通しが良く、太陽のたっぷり当たる場所に置き、土がカラカラになったら水をあげるということのお世話のポイントを教えてもらいました。花壇の植え付けについては、ポットごとデザインの通りに置いてから、シャベルで土を掘り、地面と同じ高さになるようにして植え付けることを教えてもらいました。初めて知ったこともたくさんあり、子どもたちは嬉しそうに活動に取り組んでいました。教えてもらったお世話の方法もその後のお世話を生かしていました。



チューリップの植え方を教えてもらった子どもたちは、交流することになっていた保育園の子たちと一緒にチューリップを植えました。教えてもらったことを生かして、年長さんに優しく丁寧に教えていました。おにいさんおねえさんとしての自覚も芽生えたようです。



お家の人に向けて、これまでの取組について「みな」と「みらい」を語る会で発表しました。どうしてお花を植えることにしたのか、お花を植えて気付いたことや分かったこと、専門家の先生に聞いて分かったこと、これからはどのように活動を進めていくのかについて伝えました。子どもたちは、お家の人から、活動を価値づけしてもらったり、アドバイスをもらったりしたことで、自信につながっていきました。パンジーのお世話もより一層頑張ろうという気持ちを高めました。



冬休み前には、パンジーの芽がまだ小さかったため、冬休みはお家にもって帰ってお世話をすることにしました。花壇に植えたお花も大きくなり、たくさんのお花が咲くようになりました。専門家の先生からの、元気のないお花はとってあげるというアドバイスを生かして、元気のないお花や、咲き終わったお花の手入れを頑張りました。



3月になり、パンジーにつぼみことができました。お世話をしてきた子どもたちは大興奮でした。



暖かい日が続き、つぼみだったパンジーも花が咲きました。最初のお花は、白地に真ん中はピンク色のお花でした。つぼみもできてきたので、みんなで花壇に植えることにしました。お花の苗を植えた時に教えてもらったやり方を生かして、お花を植えました。



自分たちで育てたお花が咲き、自分たちの取組とお花を見てもらえるように全校の皆にお知らせをしました。すると、「きれいだね。」「手入れがきちんとしてあるね。」と嬉しい言葉をたくさんもらいました。子どもたちは、自分たちがお花をきれいに咲かせることができたことや、花壇を見て笑顔になってもらった人がいたこと、自分たちもお花を見て笑顔になったことを受けて、「おはないっばいだいさくせん大成功だね。」と活動を締めくくりました。

今後も、植物を大切に育てる気持ちや、人のためにできることを考えて取り組む気持ちを大事にして過ごして欲しいなと思います。